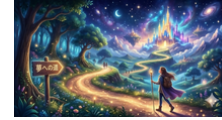


Road to Dream



44日間の夏休みが終わり、2学期が始まりました。皆さんは、どのような夏休みを過ごしましたか。夏休みには三者面談が行われ、保護者の方と一緒に進路について話し合う機会があったことと思います。特に3年生にとっては、進路を決定していく大切な学期が始まります。2年生は職場体験学習を通して、働くことや将来の職業について考える機会があります。また、1・2年生は進路適性検査を実施し、自分の興味や関心、適性について知る機会となります。進路について考えることは、進学先を決めることだけではなく、「自分は何が好きなのか」「どのようなことに挑戦したいのか」「将来どのような自分になりたいのか」を考えることも大切です。それぞれの学年で、自分の将来について考え、一歩ずつ前に進む2学期となることを願っています。



3者面談であった入試に関するQ&A



①志望校はいつまでに決めたいですか？

最終的には出願までですが、できれば12月頃までには第一志望を固めておくことが大切です。3年生は10月に受検で受けるような学力検査があるので、その点数も参考に志望校を決めましょう。

②特色選抜と一般選抜の違いは何ですか？

県立高校の選抜方法には、特色選抜と一般選抜があります。どちらも、学力検査、調査書、面接など、選抜方法は同じです。では何が違うのでしょうか。

特色選抜→自己推薦型。高校が示す「期待する生徒像」に合った生徒を選ぶ選抜であり、調査書（中学校での成績や様子が書かれたもの）や実績、この高校で学びたいという明確な目標があるかを重視して合否が判定される。「高校が求めている生徒、この高校でしっかり学びたいと明確な目的意識のある生徒のマッチングを重視した選抜」

一般選抜→この高校でやっていく学力が十分あるかを学力検査や調査書で判断する。また、面接等で入学後もこの高校で学び続けられるかどうか確認される。

③特別枠って何ですか？

高校によって特別枠のあるところとないところがあります。高校が、通常の特色選抜枠（普通科20%、それ以外の学科40%）に加えてプラス5%以内の合格者を出せる仕組みです。さらに、特別枠を設定している学校の中には、特別枠の基準を設けている学校もあります。その場合は、実技試験等の追加試験もあるので、各高校のHP等から確認をしてください。



自分の進路、将来につながることです。わからないことは、積極的に先生方へ聞いてみましょう。



令和9年度高校育英貸与奨学生、修学支援奨学生および高等学校奨学生予約募集について

↓以下、要項より抜粋

県内に住所を有するもので、高等学校へ進学を希望するもので、特に優れた資質を有し、経済的理由により著しく修学困難なものについて、奨学生を募集する。

01 奨学金について

○ 無利息です。貸与金額は以下の通りです。➡ P.2

奨学金の種類	種別	国公立	私立
(月額制) ・高校育英貸与奨学金 ・高等学校奨学金	自宅通学	18,000 円	30,000 円
	自宅外通学	23,000 円	35,000 円
(一括) ・修学支援奨学金		220,000 円	

○ あなた（学生）自身が借りて、将来返還するものです。

➡ P.7

○ 他団体の貸与型の奨学金若しくは修学資金と併用できません。併用はできませんが、後にいずれを利用するか選んでください。給付奨学金や教育ローンは同時に使えます。

○ 主な応募資格：以下の項目●を全て満たす必要があります。

高校育英貸与奨学金・修学支援奨学金 ➡ P.3

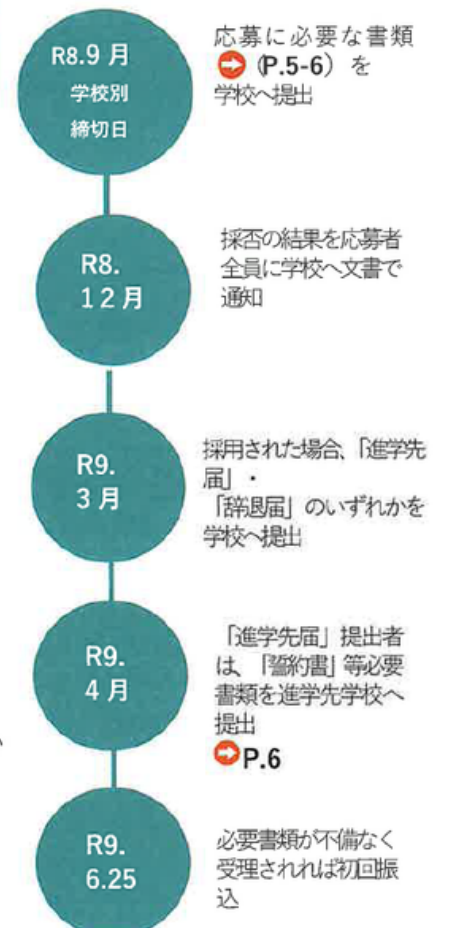
- ご両親のいずれかが沖縄県内に住民登録している
- 高等学校等（専修学校（高等課程）を含む）に進学を希望している。
- 中学校の成績平均値が 3.0 以上。（2.7～2.9 の生徒は学校に要相談）
- 勉強意欲があり、奨学生としてふさわしい生徒である
- 本人の属する世帯の家計が当財団の定める収入基準を下回っていること。

高等学校奨学金 ➡ P.3

- 本人が沖縄県内に住民登録している
- 沖縄県内の高等学校等（専修学校（高等課程）を含む）に進学を希望している。
- 勉強意欲があり、学業を確実に修了できる見込みがある者
- 本人の属する世帯の家計が当財団の定める収入基準を下回っていること。（高校育英貸与奨学金・修学支援奨学金と収入基準額が異なります。）

02 応募から貸与までの流れ

以下の日程を確認し、提出書類はゆとりをもって準備してください。提出の締切日は必ず在学校へ確認してください。



校内締め切り→9月25日（金）17:00

現3年生を対象とした返金が必要な奨学金です。必要があれば、募集要項を配布しますので、進路担当（與那嶺）まで声をかけてください。